

みんなで繋ぐ・みんなで進める

## 「観光立市郡上」の推進

観光産業の進展は経済の活性化に大きく寄与します。観光産業は総合産業と言われるように、関連する事業者は多岐にわたります。様々な分野への経済波及効果が期待できるとともに、新たな雇用を生み出す可能性も秘めています。また、観光では、「儲ける」という視点だけではなく、どういう地域をつくるかも重要です。今月号では、地域とのつながりを大切にして活動する事業者のみなさんや、郡上全体の経済波及効果を意識した取り組みを紹介するとともに、郡上市が目指す「観光立市」のポイントをお伝えします。



(一社) 明宝ツーリズムネットワークセンターが行っている体験プログラム。(写真提供：明宝ふるさと家族)

### 郡上市でしかないこと

「観光立市」という言葉からは、「観光業」を強くイメージされると思いますが、郡上市が掲げる「観光立市」は、一般的にいわれる「観光」だけではなく、様々な分野で地域の宝をみんなで磨き、磨いた宝を生かした地域づくりを進めていくというものです。

明宝地域においては、平成26年1月に、官民協働の組織として、明宝ツーリズムネットワークセンター（以下「明宝ツーネット」）を設立しました。平成28年2月に一般社団法人化し、主に、子ども向け自然体験プログラムを地域のみなさんの参画を得ながら実施しています。

具体的には、春の山菜採りから田植え、梅の収穫、稲刈り、栗拾いなど、暮らしの一部が体験できるツアーを企画実施し、リピーターも増えています。また、地域に継続的に関わってもらう仕組みとして「明宝ふるさとクラブ」という制度を設け、

都会に住む家族をターゲットにした囲い込み戦略も進めています。

明宝ツーネットの代表を務める國田義道さんは、「私たちの身近には、地域の活性化につながる資源が数多く眠っています。自然とのふれあいや美味しい農産物を、旅行という商品にする

ことで、地域が元気になり経済の循環も生まれます。郡上でしかないことが、実は大きな価値を生む宝になります。」と話されました。

### 「立ち寄り型」から

#### 「目的的地型」へ

美並町で自然体験の事業を営む水口晶さんは、「ここ数年、人口減少の影響が大きく、市内におけるアウトドアの市場は、横ばいが続いています。郡上の認知度を上げ、多くの観光客に選択される地域として確立されなければなりません。」と、今後市全体として取り組むべき方向性を述べられました。郡上で起業して21年目を迎えた水口さんは、市の観光振興を進めるポイントとして、「立ち寄り型」から「目的的地型」への転換が必要だと話されます。そのための第一歩として、情報発信や予約などの一元化を進めることや、

観光客の滞在時間を延ばすために、市内の楽しみ方を広く紹介する窓口機能の強化などを挙げられました。これからは事業者の個々の動きから、市全体への経済波及効果を高めるための活動が大事になると言えます。

つまり、郡上市が「目的的地」となることで滞在時間が延び、宿泊をするなどして消費を増やすことも可能になってきます。

### 「郡上の価値」の発信を強化

「道の駅古今伝授の里やまと」で支配人を務める尾藤真紀さんは、郡上ファンを増やすためには、「郡上という土地を好きになってもらい、人を好きになってもらうこと、そして心を通わせ合う関係づくりが重要です。また、郡上の子どもたちに『郡上に住みたい、郡上で働きたい』と思ってもらうため、歴史や文化の再発見、掘り起しを含めた『価値の発信』が大事です。」と話されました。また、「地元の人にとっては日常の暮らしや、いつもの景色であっても、外の人から見ると心が動く。相手を知らないこと、そして、身近なモノやコトを編集・加工し、独自のストーリーを創りだすことが必要な時代になっています。」と、今後考えるべき観光振興の



道の駅古今伝授の里やまとは、郡上で作られた商品の販売比率を上げる取り組みや新商品開発の支援を進めています。



(右) 道の駅古今伝授の里やま  
で支配人を務める尾藤真紀さん  
(左上) 明宝ソーネット代表の國  
田義道さん  
(左中央) 美並町で自然体験の事  
業を営む水口晶さん  
(左下) 高鷲町を拠点にアウトド  
ア事業等を営む麦島洋介さん



## 「地域経営」の発想と

### その重要性

ポイントも話されました。

高鷲町でガソリンスタンドや貸別荘、宿泊業、アウトドア事業など、幅広く活動している麦島洋介さんは、地域資源を活用した付加価値の高い商品（サーブिस）づくりを心がけてみえます。観光協会等と連携した「市外での情報発信」を積極的に進めており、地元のスキー場や観光事業者、農家などのみなさんとも双方にとって良好な関係を築いているそうです。

これからの観光十地域づくりについては、「高鷲町では、このエリア全体の観光関連産業を総合的な視点で管理・運営することが求められています。そして、市場が求めるニーズに合った地域経営を行っていくことも必要で、ブランディングや戦略などをエリア全体で展開できるように、関係する多くのみなさんとともに考えていきたいです。」と未来に向けての抱負を語られました。

### 求められる総合的な舵取り役

地域の歴史、文化、自然などが、これからの新しい観光の対象になります。地域外の人たち

との交流が生まれることで、暮らしの価値も高まります。今回の取材を通して見えてきた「観光立市郡上」を推進するためのポイントとして、

- ①郡上でしか出来ないことが来訪者の心をつかみ、雇用の創出や地域経済の活性化につながる。
  - ②分野を超えた事業者等の連携強化が、分かりやすい情報発信へと発展し、来訪者の滞在時間を延ばすことができる。
  - ③地域にとつての当たり前が大きな価値を生む。そのためには、編集・加工する仕組みが必要。
  - ④地域経営の視点で戦略を練る「エリアマネジメント」が今後重要になる。
- この4つを挙げることができ

市では、観光や交流事業の効果を豊かな地域づくりへと連動させていくことで、「観光立市郡上」が目指す「住んでよし、訪れてよし」の地域が生まれると考えています。そのためには、関係する事業者や各種団体等の連携と、総合的な「舵取り役」が必要になります。こうした役割の担い手、組織などについて、今後検討していきます。

**問** 市長公室政策推進課  
67・1844